

第5回 計測制御検討会 議事録

1. 日時 平成16年9月13日(月) 13:30~16:00

2. 場所 日本電気協会 4階 A会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:今井副主査(関西電力),新屋(北陸電力),内海(三菱重工業),長橋(日本原子力),山岸(北海道電力),渡辺(中国電力),渡辺(四国電力),渡辺(東芝)
(8名)

代理出席委員:石合(電源開発・吉田代理),江島(九州電力・村山代理),國頭(東京電力・増田代理),小山(日立製作所・臺代理),樋上(富士電機・永野代理),山田(東北電力・熊谷代理) (6名)

欠席委員:川上(東芝),坂本(中部電力),清治(日立製作所),谷(三菱電機),三嶋(東京電力),渡辺(三菱重工業) (5名)

常時参加者:上山(関西電力),宇田川(東芝),小嶋(日本原電),山内(東京電力)

事務局:平田

4. 配布資料

資料No.5-1 第4回 計測制御検討会 議事録(案)

資料No.5-2 第15回原子力規格委員会 コメントリスト

資料No.5-3 分科会長コメントリスト

資料No.5-4 「JEAG4617-200X 中央制御室の計算機化されたヒューマンマシンインタフェースの開発及び設計に関する指針(仮称)」制定案

資料No.5-5 JEAG4611 改訂検討に関する打合せ資料

資料No.5-6-1 計測制御設備に関する国内指針体系の整理とPWRでの最新設計を踏まえた指針整備に関する調査

資料No.5-6-2 計測制御設備に関する国内指針体系の整理とBWRでの最新設計を踏まえた指針整備に関する調査

参考資料-1 第6回 安全設計分科会 議事録(案)

参考資料-2 第15回 原子力規格委員会 議事録(案)

参考資料-3 安全設計分科会 計測制御検討会 委員名簿(案)

5. 議事

(1) 前回議事録確認

事務局より、資料No.5-1に基づき、第4回計測制御検討会議事録(案)(事前に配布しコメントを反映済み)の説明があり、原案どおり了承された。

(2) 検討会委員変更の報告について

事務局より、参考資料-3に基づき以下の検討会委員変更の報告があった。

- ・東京電力 増田主査(退任) 國頭委員(新任)
- ・東芝 川上委員(退任) 鈴木委員(新任)
- ・東北電力 熊谷委員(退任) 鴫田委員(新任)
- ・東京電力 三嶋委員(退任) 田中委員(新任)
- ・九州電力 村山委員(退任) 江島委員(新任)
- ・電源開発 吉田委員(退任) 石合委員(新任)

委員の変更については、次回の安全設計分科会で承認された後、正式な委員となることが紹介された。

(3) 「JEAG4617-200X 中央制御室の計算機化されたヒューマンマシンインタフェースの開発及び設計に関する指針(仮称)」制定案について

今井副主査より、参考資料-1「第6回安全設計分科会議事録(案)」及び参考資料-2「第15回原子力規格委員会議事録(案)」に基づき、「JEAG4617-200X 中央制御室の計算機化されたヒューマンマシンインタフェースの開発及び設計に関する指針(仮称)」制定案の審議状況について説明があった。

また、資料No.5-2に基づき、原子力規格委員会のコメントとその対応案、及び資料No.5-3に基づき、原子力規格委員会のコメントを対応した後、より分かりやすい内容とするために吉川分科会長より受けたコメントとその対応について説明があった。

併せて、事務局より、コメントを修正した規格案を本日から10月4日の期間で原子力規格委員会の書面投票に入ったことの紹介があった。

(4) 「JEAG4611 安全機能を有する計測制御装置の設計指針」改定案について

今井副主査より、資料No.5-5に基づき、第10回原子力規格委員会で提案のあった「電気部品に関する耐環境性の規格の整備」について紹介があり、それを含めて検討するか否かなど「JEAG4611 安全機能を有する計測制御装置の設計指針」改定案の検討方針について説明があった。これに関する質疑の大略は以下のとおりであった。

a) この改定による利点は何か。

前回の改定から10年以上経過しており、新技術・新知見を反映させることにより規格の信頼性を高めること、及び民間規格活用を目指した技術基準の性能規定化作業が進められている中、本指針の活用により、規制に係る各審査・検査の簡素化に寄与するものと考えている。

b) デジタル装置に関する反映が大きな項目なのか。

デジタル装置についてはJEAC4209, JEAG4609と体系的にうまく整理できるよう検討を進めて行きたいと考えている。

c) 重要度クラスの考え方に大きな変更は生じるのか。

今のままでよいのではないかと考えている。

d) 技術基準の性能規定化に民間規格が活用されることで、本規格の改定により例えば検査要領書などに内容の変更が生じるのではないか。

場合によっては、内容の変更が必要となるかもしれない。改定に当ってはそのあたりも十分考慮して作業を進めて行きたい。

(5) 計測制御設備に関する国内指針体系の整理と最新設計を踏まえた指針整備に関する調査について
内海委員より、資料 No.5-6-1 に基づき、及び小山氏より、資料 No.5-6-2 に基づき、JEAG4611
改定案にて検討が必要な PWR と BWR における海外の技術動向などの調査項目及びその内容について説明があった。

6. その他

次回検討会の開催は、改定作業の進捗状況により別途調整することとした。

以上